

令和6年度 釜石商工高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

- 1 日 時 令和7年2月4日（火） 14：00～15：45
- 2 会 場 本校 大会議室
- 3 出席者 学校運営協議会委員 青木 健一（学校運営協議会会長・元 PTA 会長）
前川 恵美（学校運営協議会副会長・同窓会副会長）
細田 勝夫（学校運営協議会委員・ライオンズクラブ国際協会）
山蔭 康明（学校運営協議会委員・三陸鉄道 釜石駅駅長）

釜石商工高等学校 今野 晋（校長）
戸塚 敏彦（副校長）
鈴木 勇悦（事務長）
笹子 久実（総務主任）
鎌田 秀哉（教務主任）
桑畑 義行（生徒指導主事）
山田 英之（進路指導主事）
和合 徹（保健主事）
高橋 歩（教育相談主任）
原田 智生（情報管理主任／総合情報科主任）
似内 拓也（機械科主任代理）
中村 欣也（電気電子科主任）
玉山 雄飛（総務部 記録）

- 4 欠席者 学校運営協議会委員 高橋 信昌（大平中学校校長）

5 議事内容

次第・進行	内 容
1 開会	戸塚 副校長
2 校長挨拶	今野 校長 ・本校の教育活動への協力に対する謝辞 ・今年度の本校の教育活動について（高校野球全校応援の再開、商工祭の来場者増、卒業式のコロナ規制緩和）
3 議長選出	・青木会長を選出
4 学校概況報告並びに反省	【議事進行：議長 青木会長】 青木会長 ・運営協議会の前に行われた授業参観を通して、生徒の学習への取り組み姿勢を理解することができた。

	(1) 学校経営計画 (今野 校長) ・ ICT を活用した授業の充実。その結果がアンケートの結果にもつながっている。 ・ 進路決定率 100%。その一方で地元企業等から生徒を求める声がある。 ・ いじめ対策については教員間で情報共有している。不登校傾向の生徒や保健室に通う生徒もあり、引き続き対応していく。 (2) 学校評価について (笹子 総務主任) ・ 令和 6 年度学校評価アンケート集計結果に基づいて説明。 ・ No.4 の分かる授業については、ICT 機器を取り入れて対応。 ・ No.7 の悩み相談については、時期に応じてアンケートを実施し、把握に努めている。 ・ No.8 の整容指導については、アンケート結果から指導する教員側とされる生徒側で認識に違いがあるように感じられる。 (3) 学習指導について (鎌田 教務主任) ・ 令和 6 年度授業評価アンケート集計結果 (前期・後期) に基づいて説明。 ・ 前期と比較して「授業が分かる」と答えた割合が向上した。適切な指導・対応をしてもらっている。 (4) 生徒指導について (桑畑 生徒指導主事) ・ 夏場の暑さ対策、冬場の寒さ対策として校内で過ごす服装に運動着を可とした。 ・ 整容指導は、職員との連携を密にして対応していく。 ・ 問題行動は、昨年と比較して大幅減となった。 (5) 進路指導について (山田 進路指導主事) ・ 令和 6 年度進路状況に基づいて説明。 ・ 昨年度に引き続き進路決定率 100%となった。 ・ 今年度より、面接希望者に釜石コンパスと連携した面接練習を実施した。 (6) その他 特になし。
--	--

5 魅力化について	(1) 学科について (各科主任より) ・各科の取り組みを資料に沿って説明。 (2) 学校魅力化コーディネーターについて (戸塚 副校長) ・市役所より昨年度打診あり。 ・各学科へ実施したい内容の聞き取り。
6 その他	○ 委員との意見交換 細田委員 ・授業参観で実習や学習内容を見て、自身の体験との違いに驚いている。卒業後は即戦力として使える人材を育てて欲しい。そのためにも、本校での3年間の内容は大切だと再認識した。 ・本県では、小学校を始めとして自殺者の割合が高いと聞いている。その中で本校はしっかりと取り組んでいると感じた。 山蔭委員 ・久しぶりに学校の様子を肌で感じる事ができた。 ・令和6年度の進路状況より、管内就職者が多いので、今後も引き続き地元企業への志望者にその魅力を伝えて欲しい。 前川委員 ・以前と違い、地元の生徒がそのまま地元の高校に進学するというものでもない。本校の数多くの取り組みをもっと外部にアピールして欲しい。 ・AIの活用もお願いしたい。 青木会長 ・釜石コンパスの取り組みなどで協力しているが、話を聞くより見ることで理解が深まった。 ・学校の取り組みを継続するとともに、外部へも発信する。それが学校のカラーになるのではないかな。
7 校長謝辞	今野 校長
8 閉会	戸塚 副校長 ・次年度の役員について希望アンケートの説明。 ・次回は6月に実施する予定、5月に日程を調整する。